

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に用いられる情報は匿名加工情報であり、個人が特定できない状態での情報収集・解析を行います。

研究課題名	強迫症の長期追跡観察調査 [倫理審査受付番号：第 4950 号]
研究責任者氏名	松永寿人
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025年4月10日～ 2031年3月31日
研究の対象	以下に該当する患者様を研究対象とします。
	強迫症に対する長期予後研究（倫理審査受付番号 2080）の研究に参加した患者様
	受診日：2015年12月1日～2025年4月10日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 カルテ情報 アンケート その他（ ）
	取得の方法： 診療の過程で取得 その他（ ）
研究目的・意義	強迫症は慢性的な疾患であり、その症状により日常生活が10～20年、または生涯にわたって障害される患者様もおられます。特に症状が重い患者様の中には強迫症だけでなく背景にチック関連障害や自閉症スペクトラム障害、を合併している方が多く存在すると考えられています。本研究の目的は強迫症の症状および、その併存する疾患あるいは心理状態を長期間（15年程度）調査し強迫症状の症状が持続する要因や再発する要因を特定し強迫症の臨床にフィードバックすることです。
研究の方法	調査項目 1. 研究対象者情報（後方視調査） 年齢・性別、強迫症の発症年齢、最終学歴、就労、就学状況、強迫症に対する治療期間、通院期間、治療内容（向精神薬の種類や用量、認知行動療法の実施歴）、結婚の有無、得点を通常診療のカルテより抽出します。 以下の各種心理テストを治療にて実施している場合にカルテから情報を抽出します。 Yale Brown Obsessive Compulsive Scale (YBOCS): 自己記入式 Yale-Brown 強迫観念・強迫行為尺度 Autism Spectrum Quotient: AQ 自閉症スペクトラム指数 State-Trait Anxiety Inventory: 状態・特性不安検査

	<p>The Global Assessment of Functioning：機能の全体的評定尺度（心理的、社会的、職業的機能を評価します）</p> <p>Zung's Self-rating Depression Scale：自己評価式抑うつ性尺度</p> <p>Beck Depression Inventory：ベックうつ病調査表</p> <p>SCID-5-PD：DSM-5 パーソナリティ障害のための構造化面接</p> <p>Yale Global Tic Severity Scale：Yale の全体的チック病重症度スケール</p> <p>2．経時的変化の評価（前方視的調査）</p> <p>最終学歴、就学状況、強迫症に対する治療期間、治療内容（向精神薬の種類や用量、認知行動療法の実施歴）、結婚の有無を経年的に収集させていただきます。</p> <p>2 重症度による階層化</p> <p>経時的（1年毎）に、通院の診察時に YBOCS を使用して重症度を評価します。重症度により、完全寛解群(<8 点)、部分寛解群(8、12 点)、症状持続群(13) の3群に群別します。</p> <p>この研究は、2025 年 4 月 10 から 2031 年 3 月 31 日まで行う予定としておりますが、本研究は長期間の観察が必要となる研究ですので、観察期間の延長および研究計画の見直しのため改めて倫理審査承認を受ける予定としております。</p>
個人情報への取扱い	<p>収集したデータは、誰のデータが分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
本研究に関する連絡先	<p>診療科名等：兵庫医科大学精神科神経科学講座</p> <p>担当者氏名：向井馨一郎</p> <p>[電話]（平日 9:00-17:00） 0798-45-6041</p> <p>（上記時間以外） 0798-45-6111</p>